

Istanbul Weekly vol.7-no.39

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年12月7日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**アンカラ重罪裁判所、デミルタシュ元 HDP 共同党首の釈放を求める欧州人権裁判所の判決を拒絶。
エルドアン大統領、G20 サミットに出席。
- 経済：**11 月の消費者物価指数上昇率（CPI）、21.62%。
アクバンク：株主割当発行で 30%増資を計画。
- 治安：**イスタンブールでジョージア人による連続強盗事件が発生。
11 月中に PKK/YPG 戦闘員 170 名を無力化。
- 軍事：**米国防省：米議会にトルコの S-400 購入に関する報告書を提出。
- 社会：**ボアジチ大学が「ベスト・グローバル大学」にランクイン。

政治

【内政】

●アンカラ重罪裁判所、デミルタシュ元 HDP 共同党首の釈放を求める欧州人権裁判所の判決を拒絶

11 月 30 日、アンカラ第 19 重罪裁判所は、11 月 20 日に欧州人権裁判所が、テロ組織のプロパガンダを行った罪等で 2016 年 11 月から収監されているデミルタシュ元 HDP 共同党首の釈放を求める判決を下したことに對し、容疑者の弁護が完了していないことなどを理由にこれを拒絶し、拘留状態を継続する判決を下した。（12 月 1 日付け C 紙 5 面）

●優良党、CHP と共同でアンカラ市長候補者の擁立を提案

12 月 1 日、アクシェネル優良党党首は、ビルギ大学で開催された「トルコにおける青年と政治」と題するイベントで、2019 年 3 月に実施予定の地方選挙において、アンカラ市長について CHP と共同の候補者を擁立することを提案した。候補者についてアクシェネル党首は、「CHP の有権者と右派の有権者が納得するような候補者を擁立する。」と述べた。（12 月 2 日付け C 紙 4 面）

●AKP、地方選挙での地方候補者 14 名を発表

12 月 6 日、エルドアン大統領は、2019 年 3 月実施の地方選挙での AKP の市長候補者について、先日の発表に引き続き、エディルネ市やキュタフヤ市を始めとした 14 名の市長候補者を発表した。未だ候補者が明らかにされていない 7 市のうち、メルスィン市及びムーラ市など MHP の支持層が多い市の候補者については、パフチェリ MHP 党首との会談後に確定される予定。（12 月 7 日付け M 紙 12 面）

●ユルドゥルム国会議長、クルチダルオール CHP 党首を訪問

12 月 2 日、ユルドゥルム国会議長は、クルチダルオール CHP 党首を訪問した。訪問では、主に AKP のイスタンブール市長候補者として有力視されているユルドゥルム国会議長が候補

者として発表された場合に国会で生ずる状況などが協議された。（12 月 3 日付け M 紙 13 面）



（写真は、12 月 2 日付け NTV インターネット版から）

【外交】

●エルドアン大統領、G20 サミットに出席

(1)11 月 30 日から 12 月 1 日まで、エルドアン大統領は、ブエノスアイレスにて実施された G20 サミットに出席した。サミットのマージンで、エルドアン大統領は、プーチン露大統領及びトランプ米大統領など各国の首脳と会談した。プーチン露大統領との会談では、主にシリアのイドリブ問題が、トランプ米大統領との会談では、FETO やシリアの状況が協議された。

(2)エルドアン大統領は、記者会見で、シリアにおける YPG に言及し、「我々は、ユーフラテス川東岸も近いうちに分離主義者のテロ組織の占領から救出する。」と述べた。また、ハジョグジー氏殺害事件については、「我々はサウジアラビアから必要な支援を得ていない。サウジアラビアは、ハジョグジー氏が窒息死させられた証拠があると表明しているトルコの協力者が誰なのか、説明する必要がある。」と批判した。（12 月 2 日付け M 紙 13 面）



(写真は、12月1日付けM紙インターネット版から)

●エルドアン大統領、中南米を歴訪

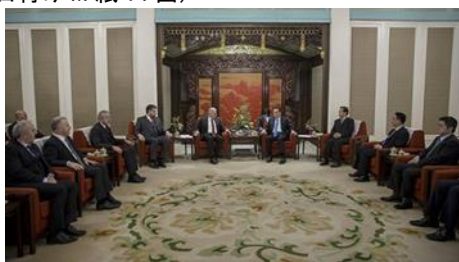
12月1日から3日まで、エルドアン大統領は、アルゼンチン、パラグアイ及びベネズエラを訪問した。3日には、トルコの大統領としては初めてベネズエラを訪問し、マドゥロ・ベネズエラ大統領と共に「トルコ・ベネズエラ・ビジネスフォーラム」に出席した。(12月4日付けM紙12面)



(写真は、12月4日付けM紙インターネット版から)

●ユルドゥルム国会議長、中国を訪問

12月3日から5日まで、ユルドゥルム国会議長は中国を訪問した。3日に、栗戦書・全国人民代表大会常務委員会委員長と会談し、ユルドゥルム国会議長は、「政府間関係を発展させるとともに議会間交流や議員間交流も更に活発にしていく必要がある。」と述べた。4日には、中南海公邸で李克強・國務院総理と会談し、「我々は中国をトルコの戦略的な友好国と見ている。」と発言した。(12月4日付けM紙13面及び12月5日付けM紙14面)



(写真は、12月4日付けM紙インターネット版から)

●チャヴシュオール外相、ジェフリー・米シリア特使のアスタナ会合に対する批判に応酬

12月5日、チャヴシュオール外相は、ブリュッセルで開催されたNATO外相会合後に開かれた記者会見で、3日にジェフリー・米シリア特使が、アスタナ会合は不成功だったとし、「もうアスタナ・プロセスに終止符を打つ時がきた。」と批判したことに対し、「ジェフリー特使自身の発言とは思えない。緊張緩和地帯の保護と政治的な解決のプロセスは、アスタナでの会談によって継続されている。」と応酬した。(12月6日付けM紙14面)

●トルコ・EU 難民対策プロセスが再開

(1)11月30日、外交筋によれば、トルコ当局とEU当局は、ブリュッセルで、2016年3月にトルコ・EU間で合意に至ったもののその後暗礁に乗り上げていた難民対策のプロセスの協議を再

開した。両当局は、合意で約束されていたトルコ国民のEUへの査証免除の実現のためにトルコが満たすべき72の基準のうち、残された7つの基準のうちの1つであるユーロパールの協力協定について協議を行った。

(2)EUによるトルコにおけるシリア難民に対する追加の支援金30億ユーロの支払についても審議され、同支援金は、主にシリア人のトルコへの統合を支援するプロジェクトに使用されるとされた。今後は、2019年上半期に、同プロセスを協議するためにトルコとEUの共同委員会会合が実施される予定。(11月30日付けS紙インターネット版及び12月3日付けHDN紙2面)

経済

【マクロ経済】

●10月の貿易赤字、対前年同月比93.8%減の4.56億米ドル

11月30日、トルコ統計庁(TUIK)は、10月の貿易赤字が前年同月の73億米ドルから93.8%減の4.56億米ドルであったと発表。輸出額の輸入額に対するカバー率は前年同月が65.6%であったのに対し、97.2%だった。(11月30日付けHDN紙インターネット版)

●ペキジャン貿易相:11月の輸出額は155億米ドル、輸入額は161億米ドルと発表

12月1日、ペキジャン貿易相は、11月の輸出額が対前年同月比9.49%増の155.3億米ドル、輸入額は同21.47%減の161億米ドルだったと発表。輸出額の輸入額に対するカバー率は96.3%。同相は、2018年は記録的に増加している輸出が継続するとし、新経済プログラムに掲げられた1,700億米ドルの年間輸出目標額は達成可能との見通しを述べた。また、トルコリラ建てでの貿易相手国は11月の時点で輸出が174か国、輸入が110か国に達し、トルコリラ建てでの11月の総貿易額は101億トルコリラ(20億米ドル)であったと述べた。(12月3日付けHDN紙9面)



(写真は、12月1日付けDUNYA紙インターネット版から)

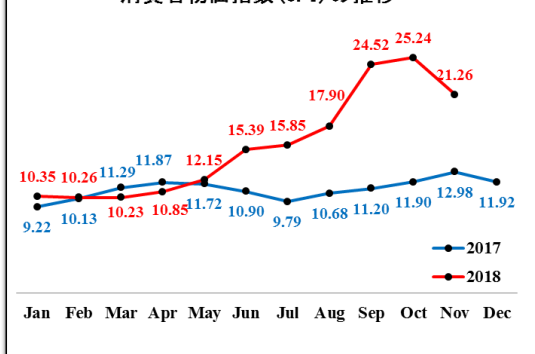
●11月の経済信頼感指数、対前月比9.1%上昇の73.7

11月29日、トルコ統計庁(TUIK)は、11月の経済信頼感指数は、対前月比9.1%増の73.7と発表。同指数は100以上で楽観的な見通しを示す。この上昇は、消費者、製造業、サービス業、小売り・貿易の各信頼感指数の回復によるものとした。一方で、建設信頼感指数は3.5%減の56.6だった。(11月30日付けHDN紙9面)

●11月の消費者物価上昇率(CPI)、21.62%

(1)12月3日、トルコ統計庁(TUIK)は11月の消費者物価指数(CPI)が対前月比1.44%減少し、対前年同月比では21.62%であったと発表。ロイターは22.6%、アナドル通信の調査では22.61%を予想していた。同庁は、為替相場におけるトルコリラの回復、政府による免税措置及び店舗価格のディスカウントキャンペーンにより、物価の上昇が抑制されたとした。(12月4日付けHDN紙9面)

消費者物価指数 (CPI) の推移



(グラフは、当館作成)

(2) TUIK による CPI 発表の 2 日後の 12 月 5 日、トルコ中央銀行は、2019 年の金融政策及び為替レート政策を発表。政府の掲げた路線に則り、インフレ目標は 5%を維持するとした。(12 月 6 日付け HDN 紙 9 面)

●11 月の製造業購買担当者指数(PMI)、前月から微増の 44.7
12 月 3 日、イスタンブール工業会議所(ISO)及び HIS マークイットは、11 月の製造業における購買担当者指数(PMI)が 44.7 であったと発表。同時に、インフレ圧力下における経済の縮小は製造業に停滞をもたらしていると指摘。一方で、生産と新規受注の動きは鈍化しているが、10 月よりもその傾向は弱まっており、トルコリラの為替相場における回復は、生産コストと販売価格を減少させているとした。(12 月 4 日付け HDN 紙 9 面)

【経済外交】

●イスラム開発銀行(IsDB)、今後もトルコの産業を支援

ハジャール・イスラム開発銀行(IsDB)総裁は、トルコは同行の融資規模が第 4 位の国であり、これまでに 116 億米ドルの開発プロジェクトを行ってきたと述べ、同行の今後の 10 年計画においても、医療、教育、交通、エネルギー等の様々な産業を支援していくと発言した。(12 月 3 日付け HDN 紙 9 面)

【金融】

●1 月から 10 月までの銀行セクターの純利益、83 億米ドルを計上

11 月 29 日、銀行規制監督庁(BDDK)は、1 月から 10 月のトルコの銀行セクターの純利益が対前年同期比 11.5%増となる 459 億トルコリラ(83 億米ドル)を計上したと発表。また、銀行セクターの総資産は、10 月末時点で対前年同月比 25.9%増の 3.99 兆トルコリラとなった。(11 月 30 日付け HDN 紙 9 面)

●アクバンク：株主割当発行で 30%増資を計画

12 月 5 日、アクバンクは、株主割当により 30%増資を行い、52 億トルコリラまで資本を増強する予定であると発表した。イシュ・インベストメントのシェンギヨル氏は、同行の増資が来期に予見される不良債権増加の影響を緩和するための決定であると述べ、他行にも波及する可能性があるとして指摘した。同行は第 3 四半期決算において、自己資本比率は法定レベルを上回る 18.48%、不良債権比率は 3.3%と発表している。(12 月 6 日付け HDN 紙 9 面)

【自動車産業】

●2018 年の国内自動車市場、11 月までで 50 万台に縮小

(1) 12 月 4 日、自動車販売業者協会(ODD)は、2018 年の 1 月から 11 月までの乗用車及び軽商用自動車の販売台数は対前年同期比 33.75%減の 54 万 3,231 台だったと発表。乗用車は

42 万 5,478 台、軽商用自動車は 11 万 7,753 台だった。乗用車の内訳は、50.1%がセダン、ハッチバックが 24.3%、SUV が 21.6%だった。

(2) 12 月 4 日付けのトルコ統計庁(TUIK)の発表によれば、10 月にトルコで新たに車両登録された自動車数は、対前年同期比 65.6%減の 38,119 台だった。うち 54.2%が乗用車で、16.4%が小型トラック、14.15%が二輪バイクだった。メーカー別では、ルノー14.6%、フォルクスワーゲン 9.7%、日産 8.2%、ヒュンダイ 8.2%、フィアット 7.9%、トヨタ 7.4%、ホンダ 6.8%、ダチア(ルーマニア)5.6%、フォード 4.6%、シュコダ(チェコ)4.4%、その他 22.4%。(12 月 5 日付け HDN 紙 9 面)

【企業等の動き】

●ルネサンス、アルジェリア企業とトルコ南部に石化プラント建設

11 月 28 日、トルコの建設を中心とする大手財閥ルネサンス・ホールディングは、アルジェリアのソナトラックと共に、トルコ南部のアダナ県におけるジェイハン工業地帯に、12 億米ドルを投じて石油化学プラントを建設することを発表した。同プラントでは、トルコが現在全て輸入しているポリプロピレンを年間 45 万トン生産し、2023 年には、トルコの需要の四分の一に達する予定。ウルジャク・ルネサンス・ホールディング会長は、このプロジェクトにより貿易赤字を年間 4.5 億米ドルから 5 億米ドル削減する効果があると述べた。(11 月 30 日付け HDN 紙 9 面)

●プリサ、アクサライで第 2 工場の操業開始、「インダストリー 4.0」を実現

30 年前に日本のブリヂストンとトルコのサバンジュ財閥の合併企業として誕生したプリサ社が、アナトリア中央のアクサライ県に位置するハサン山(当館注：標高 3,253m)の麓に 3 億米ドルを投資したタイヤ工場の操業を開始した。同工場では最新鋭の自動制御機械により、タイヤを 2.5 秒に 1 つ生産する。アレムダル・プリサ CEO は、従来型工場に比べ在庫回転率は 2 倍、不良品率ゼロを達成したとし、プリサの同工場はトルコで初の「インダストリー 4.0」を体現しているとした。(12 月 3 日付け H 紙 6 面)



(写真は、12 月 3 日付け H 紙インターネット版から)

●トヨタトルコ社長交代：「新型カローラを生産、そしてトルコを後に」

サカリヤ県のトヨタ工場で、11 月 16 日から新型ハイブリッドモデルのカローラの生産が開始された。一方で、加藤現トヨタトルコ社長が異動することとなり、2019 年 1 月 1 日から工藤現副社長がトヨタトルコの新社長となることが明らかにされた。(12 月 3 日付け H 紙 6 面)



(写真は、12 月 3 日付け H 紙インターネット版)

治安

【PKK 関係】

●国防省:過去 1 週間に PKK 戦闘員 41 名を拘束

11 月 30 日、国防省は、過去 1 週間にトルコ国内外で PKK 戦闘員 41 名を拘束し、ライフル、対戦車砲、銃器、C4 爆弾、爆発物原料等を押収するとともに、シェルター及び武器庫 44 施設を破壊したと発表した。(12 月 3 日付け HDN 紙インターネット版)

●11 月中に PKK/YPG 戦闘員 170 名を無力化

11 月中に、治安部隊は、PKK/YPG 戦闘員 170 名を無力化した。また、PKK 関連の容疑者 590 名を拘束し、うち 165 名を拘留した。(12 月 5 日付け HDN 紙 4 面)

●イスタンブールでジョージア人による連続強盗事件が発生

12 月 4 日、イスタンブール市バイラムパシャ区において、ジョージア人 4 名がビジネスマンを工作ドリルで負傷させ、11 万 1,000 トルコリラを強奪する事件が発生した。その後、容疑者らは、スルタンガーズィー区でも宝石店店主から同様の手口で強盗を試みたが、現場に居合わせた非番の警察官が発砲し、容疑者 1 名を拘束した。警察は、エセンユルト区で容疑者 2 名を拘束し、残り 1 名の行方を追っている。(12 月 4 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、12 月 5 日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコ統計局:2017 年における刑務所収監者は約 23 万 2,000 名

12 月 5 日、トルコ統計局(TUIK)は、2017 年における刑務所の収監者は対前年比 15.7%増加し、約 23 万 2,000 人に達したと公表した。収監者の内訳は、男性 95.7%、女性 4.3%であり、窃盗犯 12.3%、暴行等 7.7%、薬物製造・密売 3.7%等となっている。(12 月 6 日付け HDN 紙 2 面)

軍事

●米国防省:米議会にトルコの S-400 購入に関する報告書を提出

米国防省が米議会に提出した報告書によれば、トルコがロシアから S-400 ミサイルを購入した場合、米・トルコ関係及び NATO 内でのトルコの立場に悪影響が生じることは避けられず、トルコの F35 戦闘機共同開発事業への参加継続の再検討及び米国からトルコへの武器移転禁止等の制裁が発動される可能性がある。(12 月 1 日付け HDN 紙インターネット版)

社会

●バレエ「三銃士」がイスタンブールにてプレミア公演

イスタンブール国立オペラ・バレエ(IDOB)によるバレエ「三銃士」が、イスタンブールで初演される。脚本・振付は、ヴォルカン・エルソイ氏とアルマーン・ダヴラン氏が共同で行った。同バレエは 2010 年にアンカラでプレミア公演が行われた。イスタンブールでのプレミア公演は 12 月 1 日にカドゥキョイのスレイヤ・オペラハウスで行われ、その後 12 月 4 日、6 日、8 日、20 日、22 日及び 2019 年 4 月 2 日、4 日にも同オペラハウスで講演が

続く。ゾルル舞台芸術センターでも 2019 年 3 月 29 日に公演される。(11 月 30 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、11 月 30 日付け HDN 紙インターネット版から)

●ボドルムの土砂崩れ跡からローマ時代の墓発掘

ムーラ県ボドルム城海洋考古学博物館責任者らは、同県内で発生した土砂崩れ跡から後期ローマ時代の石棺を発掘した。専門家らが石棺の時期や詳細情報を収集するために同地域にて調査を開始し、石棺は博物館の保護下に置かれた。(12 月 2 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、12 月 2 日付け HDN 紙インターネット版から)

●「釘を使用せずに建設されたモスク」が改修され、数十年ぶりに再公開

黒海沿岸サムスン県チャルシャンバ区にある「釘のないモスク」として知られていた古代建築モスクは、30 年前に同市にコンクリート製モスクが建設されて以来放置されていたが、改修工事が行われ再び礼拝者や観光客に公開されるに至った。同モスクは 650 年前セルジューク朝時代に建設され、釘を一切使用しないその建設手法により傑出していた。デュンダル・チャルシャンバ区長は、「同モスクはトルコ・イスラム建築の特徴である木造建築物の見本となるものである。その内装や木彫工法においてもモスクの重要性を示すものであり、観光客をも惹きつけるだろう。」と述べた。(12 月 1 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、12 月 1 日付け HDN 紙インターネット版から)

●ブルサの職人が発掘されたタイルを修復

ブルサ県主催の修復ワークショップで、トルコ各地で発掘された何世紀も前のタイルの修復作業が行われている。ワークショップは、トゥナ・ウルダー大学(ブルサ)研究員及びアクン陶

器技術師が共同で行っており、発掘されたセルチュク朝、ビザンツ時代、オスマン帝国時代の陶器を、各々の規範や基準を判断した上でオリジナルの状態に修復する。トゥナ研究員は、「ブルサはタイルが非常に充実した地域であり、セルジューク朝時代から共和国初期に至るまでの多種多様な発掘物がある。我々の目的は、わが国の文化遺産を保存し、修復者、芸術史家及び陶器製作者に例を示すことである。」と述べた。(12月3日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、12月3日付け HDN 紙インターネット版から)

●ボアジチ大学が「ベスト・グローバル大学」にランクイン

ボアジチ大学が、US ニュース&ワールドレポート誌による「ベスト・グローバル大学」にランクインされた。75 か国 1,249 大学のうち、トルコの 27 大学がリストに名を連ねており、ボアジチ大学は 234 位。第 1 位はハーバード大学、第 2 位マサチューセッツ工科大学、第 3 位スタンフォード大学となっている。トルコからは他に中東工科大学、イスタンブール工科大学が 500 位内にランクインした。またボアジチ大学は、工学部門で 265 位、物理部門で 66 位、アジアの最優良グローバル大学としては第 29 位にランクインした。ベスト・グローバル大学ランキングは、世界及び地域での評判、出版物などの学術的研究成果に重点を置く 13 の指標に基づき決定される。(12月4日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコのサッカークラブが子供達のために資金集め

「ライフシェアリング・ソリダリティ基金」の主催するイベントで、トルコの 5 大サッカークラブが一丸となった。イベントは、知的・身体的障害を持つ子供や殉死・負傷したトルコ治安部隊員の子供達への平等な教育の提供、リハビリ施設や特別教育施設を建設するための資金集めを目的として、イスタンブールのグランド・ペラ・エメックホールで開催された。イベントでは、子供達が撮影したサッカー選手の写真が販売され、オークションではサイン入りユニフォームが 1 万 5 千トルコリラで落札された。イベントの収益は、リハビリ施設や殉死した治安部隊員の家族の支援に使われる。(12月6日付け HDN 紙 4 面)



(写真は、12月6日付け HDN 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITQ	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Habertürk
D	Dünya	IA	İhlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.12.6 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃	盗	詐	欺	ぼったくり/バー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	1件	9件	0件	2件	1件	15件	0件	6件

★当館 HP 更新のお知らせ★

●[イスタンブールにおけるスリ被害への注意喚起](#) (12/4)